

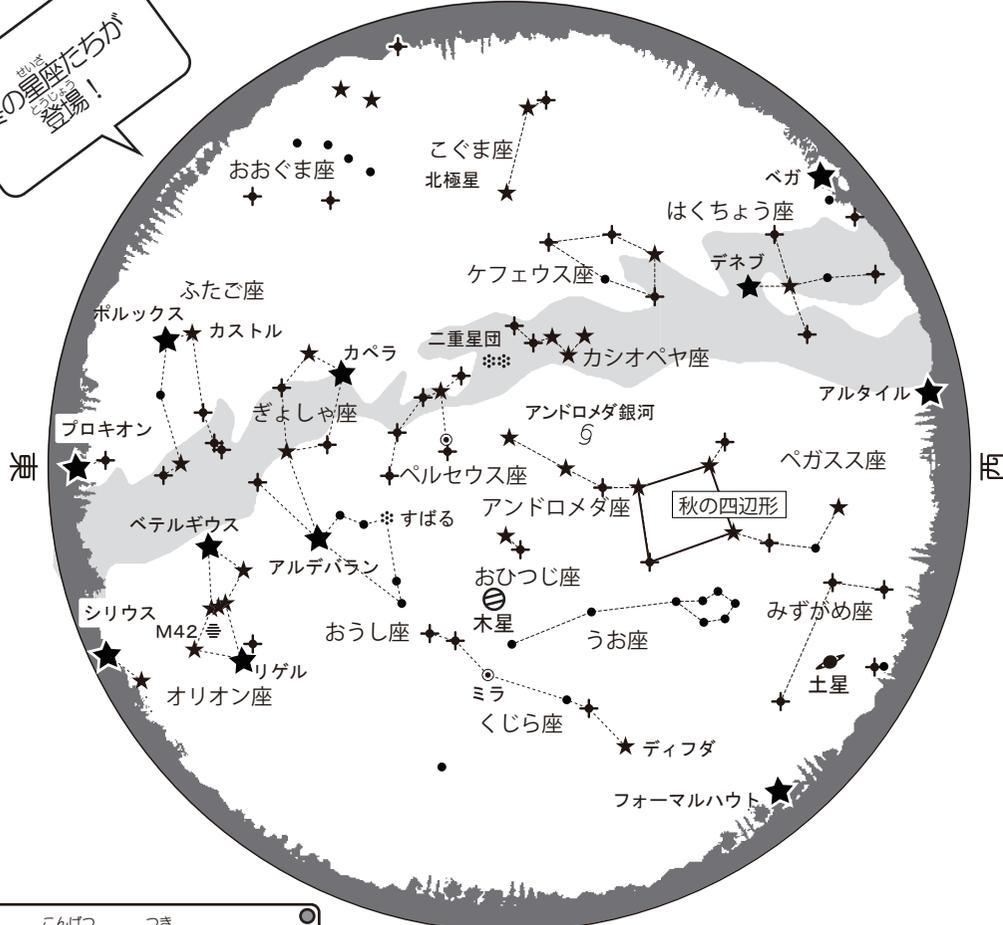
# 星空だより

2023年12月  
No.157  
富山市科学博物館

12月中旬 午後8時ごろの星空

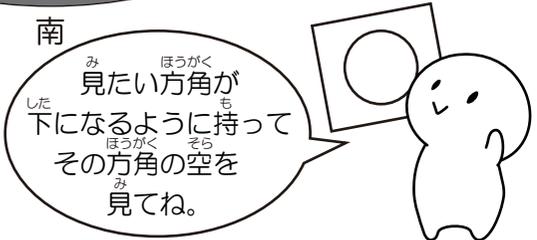


冬の星座たちが登場!



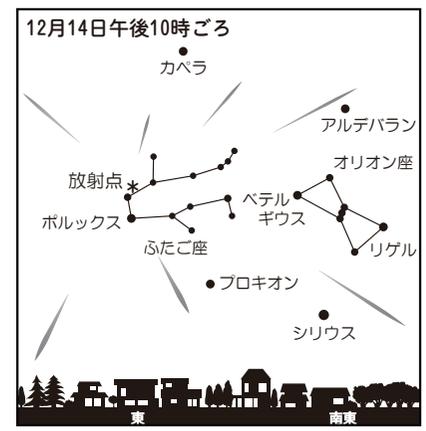
〜今月のお月さま〜

12月 5日	下弦	●
12月 13日	新月	●
12月 20日	上弦	●
12月 27日	満月	○

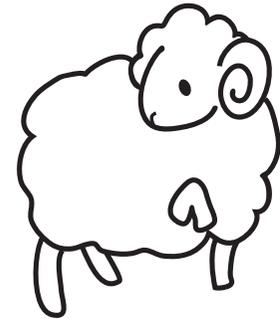


## 流れ星を見てみよう

12月15日は流れ星が多く流れる「ふたご座流星群」の極大日です。今年は14日の夜から15日の明け方にかけてがいちばん多く見られます。街明かりの少ないところで空全体を見るようにしましょう。夜は寒くなりますので、あたたかい服装で見てくださいね。



## 黄道十二星座紹介 ☆おひつじ座☆



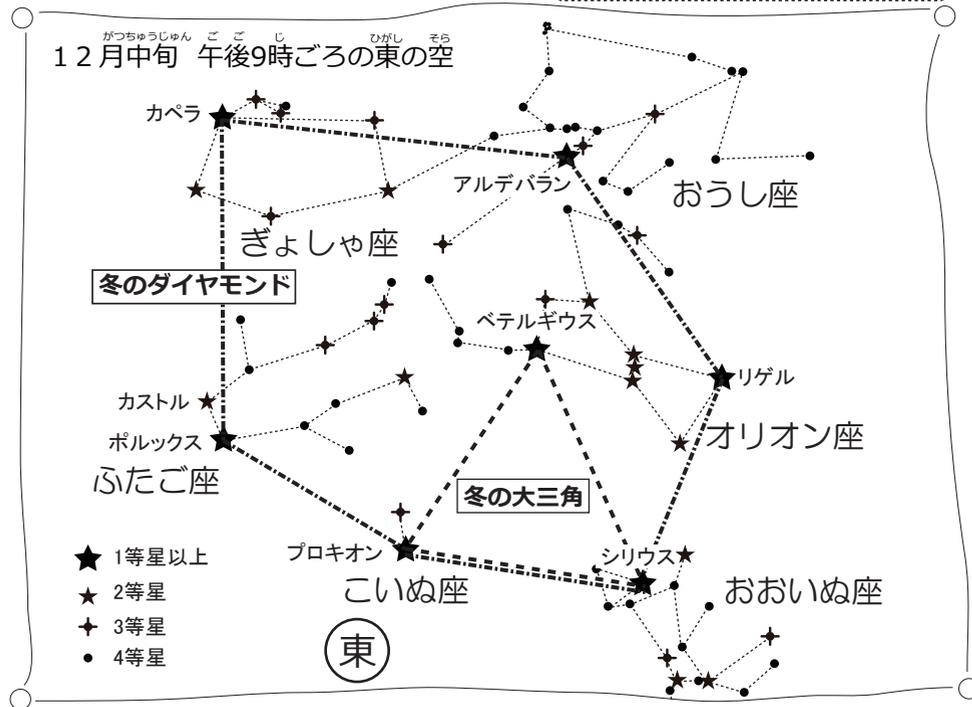
おひつじ座は、ギリシャ神話に出てくる金色の毛皮を持ち、空を飛ぶことのできるひつじの姿といわれています。この金色の毛皮を求めてギリシャ神話の英雄たちが集まり冒険をした物語が伝わっています。

※黄道十二星座って？  
太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

毎週土曜日の夜に開催。  
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

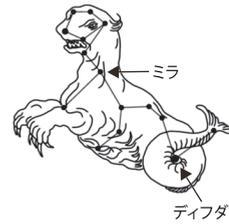
# 今月の さがしてみよう

## 冬の星座たち



- 1 リボンのような形のオリオン座を見つけます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、冬の星座で一番明るく輝くシリウスを見つけます。
- 3 オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つけます。
- 4 オリオン座のみつぼしを上へのばして、おうし座のアルデバランを見つけます。
- 5 そこから左へのばしてカペラと、五角形に並んだぎよしゃ座を見つけます。
- 6 ぎよしゃ座の下に、2つ並んだ明るい星のあるふたご座を見つけます。
- 7 シリウス、プロキオン、ポルクス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

# 今月のオススメ星座！



## くじら座

しっぽのところにある2等星「ディフダ」が目印で、この星はくじらのしっぽという意味の「デネブカイトス」とも呼ばれます。また胸のところにある星は「ミラ」といい、明るさが変わる星（変光星）として知られています。



## ぎよしゃ座

ぎよしゃとは馬車の運転手のことです。黄色の1等星「カペラ」と、カペラをふくむ五角形の星の並びが目印です。カペラは「小さな雌ヤギ」という意味で、星座絵でもヤギをかかえた男の人が描かれています。

# 天文コラム

## すばる(プレアデス星団)

「すばる」はおうし座の肩の所にある散開星団で「プレアデス星団」ともいいます。

眼のいい人は、肉眼でも6～7個ほどの星が集まっているのが分かりますが、双眼鏡を使うと数十個の星が見えます。

「すばる」は日本の呼び名（和名）で、他に「むつらぼし」「ごちゃごちゃぼし」「むりかぶし」など全国各地でいろいろな呼び名で呼ばれています。また、ハワイにある国立天文台の「すばる望遠鏡」の名前の由来でもあります。

